

# 推 薦 書

北陸新幹線敦賀駅のデザイン案

平成30年2月19日

敦 賀 市

時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は、敦賀市における新幹線整備の推進につきまして、格別の御高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

去る平成29年1月17日に、本市のデザインコンセプト「空に浮かぶ～自然に囲まれ、港を望む駅」を要望いたしましたところ、洗練された優劣つけがたい3案のデザインを御提案いただきましたことに、心より感謝申し上げます。

新たに建設される新幹線敦賀駅舎につきましては、敦賀に降り立つ方々の玄関口として、また、敦賀市民にとっては街を象徴するシンボルとして、将来の発展を見据える上で、非常に重要な建築物であるという認識のもと、次世代を担う子どもたちを含む、多くの市民等から御意見を頂戴し、この度、一案を推薦することといたしました。

市民の想いを乗せた駅舎となるよう、今後とも御協力をお願い申し上げますとともに、付帯意見について最大限反映していただきますようお願い申し上げます。

平成30年2月19日

鉄道建設・運輸施設整備支援機構

大阪支社

支社長 蓼沼慶正 殿

敦賀市長 淵上隆信

## 推薦する新幹線敦賀駅舎デザイン案

# 「C案」

### <推薦理由>

C案のデザインは、本市のデザインコンセプト「空にうかぶ～自然に囲まれ、港を望む駅～」の“空にうかぶ”“自然”“港”を、特徴的な大屋根と、壁面の煌めきで見事に表現しており、卓越したデザインは市民アンケート等でも多くの賛同をいただきました。

また、新幹線敦賀駅舎の最大の特徴である高さを活かした大屋根の配置は、遠くから見てもすぐにわかるランドマークとなり、さらに、トップライトからの光は未来への道標となるよう期待が込められています。

本デザインの爽やかな波を表現した大海からゆりかもめが飛翔する姿が、「鉄道と港のまち敦賀」の輝かしい未来と重なり合いながら、歴史ある敦賀が更に発展することを願い、C案を推薦します。



## <付帯意見>

新幹線駅舎に係る付帯意見として、次のとおり要望します。

- ・既存駅前広場側からの景観について、新幹線駅舎コンコース階の濃色系の色合いと敦賀駅交流施設オルパークとの色調については、十分配慮いただきたい
- ・トップライトを兼ねた屋根上のウィングについては、新幹線駅舎全体とのバランスに配慮し、ウィング自体の大きさや両端の高さなど最適な形状を御検討いただきたい
- ・ランドマークとして駅西側からの見え方にも配慮いただきたい
- ・敦賀をアピールできるような、コンコース（中央広場）のデザインに配慮いただきたい
- ・過ごしやすく常に快適な駅舎で、子どもたちや障害者、高齢者に優しい設備をお願いしたい
- ・内装は、高さを活かした開放感あるデザインを工夫いただき、駅舎内からの眺望や県産材等天然木材の活用にも配慮いただきたい
- ・外観及び内装の素材や色調について、これまでの駅周辺の景観に配慮いただき、敦賀駅全体が一体感のあるデザインとなるよう、御検討いただきたい

市民の意見を最大限取り入れた新幹線駅舎となるよう、施設や機能について協議及び調整をお願いします。

